

カガヤキ

No.57(2021.6.15 刊行)、広報委員会編集

県立図書館発行

禁複写転載©広報委員会

特集 視聴覚資料ボランティア

茨城県立図書館には、2020年4月1日付で、新しいボランティア活動分野「視聴覚資料ボランティアグループ」が設置された。まだ、立ち上げの段階であるが、今後の活動のため、設置の社会的背景や具体的な作業内容、さらに、注意事項などについて、同図書館関係担当者にまとめていただいた。

「視聴覚資料ボランティア」について

情報資料課

井野場文晃

現在、ボランティアを募集している。以下、「視聴覚資料ボランティア」について、説明する。

1 募集の背景

視聴覚資料点数の増大により、メンテナンスの必要性も増大しつつある。メン

テナンスは、確認のための試聴を伴うため、時間に対して処理できる点数が少なく、すべての資料を良好な状態に保つのは、難しい状況にある。ボランティアを募集し、職員と共同でメンテナンス作業を行うことで、資料の状態を良好に保ち、県民サービスの向上を図る。

2 作業内容

- ・再生不良の恐れのある資料の試聴。
- ・資料が再生不良であった場合の研磨等(CD, DVD)。
- ・研磨した資料について、研磨後の試聴。
- ・報告書の作成。

3 対象資料

CD, DVD, VHS カセットテープ等。

4 必要資格・技能

研磨作業は、館所有の機械を使って行う。簡単な機械操作が伴うが、特に技術等を要するわけではなく、未経験でも大丈夫である。機械の操作は情報資料課職員が説明する。

5 その他

研磨は研磨剤を用いて、機械で行う。換気をしつつ作業を行うため、健康上の問題はないと思われるが、呼吸器系に健康不安を抱えている方は、念のため作業を控えていただきたい。

編集後記

通信紙の本文は、形式を整えるために、「である調」に、編集後記については、エッセーのようなソフトな読み物にするために、「です・ます調」にしています(No.25 参照)。

「視聴覚資料」とは、CD や DVD などの音声や映像の記憶媒体のことです。

web が社会に普及し始めた四半世紀前から、文字の文化よりも、接しやすい音声や映像の文化が徐々に普及し、いまでは、誰でも、簡単に、具体的には、それほど凝った内容と編集でもなければ、スマホのカメラ機能と内蔵ソフトだけでも、YouTube に映像をアップロードできます。もちろん、本格的に映像撮影と効果的表現の編集をするには、映像撮影カメラ、高性能マイク、照明具、高度編集ソフトなどが必要になります。最高を目指したならば、きりがありません。

私は、仕事分野の YouTube の映像を閲覧していますが、全体的には、基本的な機器と編集ソフトを採用した高い技術を備えており、総合レベルは、高いと位置づけられます。

YouTube の映像時間は、短い場合には 2-3 分、長い場合には 10-15 分、特別な場合、具体的には、映画などの場合には 30-90 分であり、集中できる時間や疲れな時間など、人間心理を考慮した条件設定になっています。

私には、CD や DVD の取り扱いにおいて、苦い経験があります。たとえば、私が主催した学術セミナーにおいて、CD に書

き込んだコンピュータプログラム(専門的表現をすれば、原子炉核熱流動計算コード)を PC にインストールした後、高度な科学計算をする過程において、いつもは、何のトラブルもなく進行していましたが、インストールはできても、計算実行段階で、エラーが出てしまい、原因が分からず、ありえないことですから、焦ったことがありました。

冷静になり、考えられることを片っ端からチェックしたところ、CD の記録面に、ありえないはずの人間の指紋がついており、セミナー参加者が、その CD を共通に利用していたため、不注意な受講者が、無意識のうちに、記録面をつかんでしまったために、指紋がついてしまったのでしよう。私は、ティッシュペーパーで指紋をていねいに拭き取り、再インストールして、計算を実行したところ、正常に計算できました。トラブル確認から、原因究明して正常に計算ができるようになるまで、1 時間もかかり、大きな時間ロスでした。学術セミナーでは、あらゆることを想定して、ロスタイムを 1 時間弱くらい考慮していたため、想定範囲内で処理できました。計算とは異なりますが、DVD においても、その種のトラブルがありました。

「視聴覚資料ボランティア」には、音声や映像が好きで、CD や DVD などの媒体の取り扱い経験があり、我が子を扱うように、ていねいに扱える人が適しており、自身も楽しみながら作業を進められる心の持ち主が適任者です。広報グループは「視聴覚資料ボランティア」の立ち上げに協力します。

桜井 淳